

生まれ変わりました。

それは、突然のことでした。

大阪市直営の吹奏楽団、大阪市音楽団の廃止・自立・民営化のニュース。

新聞やテレビで、ご覧になった方もいると思います。覚えていらっしゃるでしょうか？

「経営形態の変更ということで、これまで積み重ねてきた伝統はきちんと継承しながら、新しい形で楽団に頑張ってもらいたい」と橋下市長。

いや～まいった。ほんと、まいった。

いきなり一方的にそんなこと言われても、ほんとに困るんです。我々にも生活があるんです。家のローンまだ残ってるんです。

今まで、一所懸命、大阪市の為に尽くしてきたのに。私の人生、いったいなんだったんでしょう。

だいたい、私達、市の職員ですよ。公務員ですよ。公務員が、いきなり会社経営できますか？ しかも、吹奏楽団の経営ですよ。

そんな無理でしょ。できるもんなら、あなたやってみなさいよ。

なんて、、、心の中で思っただけでも、言えませんでした。だって、大阪市の職員でしたから。

そして、昨年2014年4月に民営化してから、楽団員のみならず、何度も何度も、時には喧嘩しながら、真剣に話し合いました。

これから、どうするのか？どんな道を行けば良いのか？

でね。よくよく考えてみたら、大阪市の財政が、これだけ逼迫しているわけで、橋下さんの言ってることも一理あるんですよ。

我々が、話し合いを重ねてたどり着いたのは、
今まで応援してくれた、大阪市民のみなさんや、全国の吹奏楽ファンの方々に、恩返しをしなければならないってこと。

感謝の気持ちを忘れてはいけないってこと。

その為に、日本で最も歴史のあるプロの交響吹奏楽団の「本物の音」を消す訳にはいかないってこと。

そして、決めました。

今度は、私達は自らの意思で「自立する」ことを。数年後には、大阪市からの寄付金なしで黒字経営していくことを。

その為に、意識、価値観、考え方、全てを変えていくことを。「生まれ変わる」ことを。

2015年3月16日 私達は新たなスタートを切りました。

「市音」から「Shion」へ。

日本で最も長い歴史を持つプロの交響吹奏楽団「大阪市音楽団（通称：市音）」は、
自らの意思で「Shion」として生まれ変わることを宣言し、楽団員ひとりひとりの力を結集し、
90年の伝統と歴史に裏付けされた「本物の音」を出し続ける事で、

今まで応援してくれた、大阪市民のみなさん、全国の吹奏楽ファンの方々に恩返しをしております。

皆様からの温かいご支援、本当に感謝しています。今後とも何卒宜しくお願い致します。